

採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進
課題名： アジアにおけるヘリコバクター・ピロリ菌の分子疫学研究
代表者名： 藤岡 利生
所属機関名： 大分大学

コメント

胃炎・消化性潰瘍・胃がんを引き起こす病原菌ヘリコバクター・ピロリが、特に東アジア地域で重い症状・高い頻度でがん発症をもたらす傾向にあることが知られ、その病原性が菌の遺伝子型の違いに由来している可能性が提案者らによって示唆されている。これに基づいて本提案では、ベトナム、タイ、台湾の研究機関間に先端技術の普及を図りつつ、共同でそれぞれの国・地域におけるピロリ菌の遺伝子型の違いなどについて分子疫学調査を行う。アジア地域における重要な課題であり、疾患の発症要因解明を目指す意義も高く評価される。医学・公衆衛生学の発展に貢献することが期待されると共に、既に各国間で共同研究拠点の形成が進み、先行プロジェクトで成果が上がっていることから、高い成果が期待できる。

なお、参加機関の間で技術レベルに差があると考えられるため、研究交流を通じた技術差の解消に留意すること、検体収集に加えて遺伝子型の解析も各機関で実施し得る体制作りを目指すことが望まれる。